

09年4月18日 市警ニュース

JSS 和訳

## シートベルト使用で命を守ろう

### あなたは締めていますか？

2009 年の、春のシートベルト作戦が実施されるに際して州警察は、州全域のベルト不着用による死亡事故発生を防ぐ為に、多くの場所に出動する。4 月 15 日から 26 日の間行われるこの作戦では州警察、州交通省及びその他の交通安全関連団体が協働する。

州警察の管轄区域内で昨年起きた死亡事故4件のうち1件の割合で、車に乗っていて死亡した人がシートベルトを着用しておらず、また同じ理由で多くの人が重傷を負っている。また、州内の高速道路でシートベルト不着用のために死亡した人の数は78人にのぼっている。

正しく使われた子供用シートは、事故による子供の負傷率を最大 75%予防する。ところが子供用シートの多くは間違った使われ方をしたり、設置方法を間違えたりしている。正しく使われればブースターシートは、シートベルトのみ使用の場合に比べ、さらに 60%の負傷予防効果がある。ブースターを使用せず、シートベルトのみ使用の場合、事故が起きると重傷を受ける可能性が 3.5 倍あり、頭部負傷の可能性は 4 倍である。このため州警察は、子供の安全に関する意識向上並びに保護に注力している。

子供用シートが機能を発揮するためには、正しく使用される必要がある。正しい使用とは正しい設置と、子供の年令、身長及び体重に応じた正しいシートの選択を意味している。正しい使用のための情報が必要な保護者は [www.ontario.ca/smartlovewo](http://www.ontario.ca/smartlovewo) を閲覧するか、地域の保健所に問い合わせられたい。

Fantin 州警察長官は、シートベルト不着用が、依然として死亡自動車事故の主たる原因の一つであると警

告している。彼は、「シートベルトの使用が義務づけられてから 32 年経って、なぜ我々は未だに州をあげてこのキャンペーンを起こさなくてはならないのか。車に乗ったら自動的にベルトをするようになっているべきだ。」と語っている。

2008 年4月の後半に行ったシートベルトキャンペーンで州警察の係官は、100 万人以上のドライバーと乗客のシートベルト使用をチェックし、15,000 を超える違反を摘発した。シートベルト不着用は、\$100 の罰金に加えて2点減点となる。

ドライバーとしてすべき事を実行しよう。自分のベルトを締めると同時に、他の乗客と子供達の安全を確保しよう。

### JSS 説明

これまでも何度か取り上げて来たが、シートベルト着用に関する記事である。

日本でも、運転者以外のベルト着用がだんだんに義務化されて来ているようだが、当地では車内の全員に着用が義務づけられている。着用の責任、言い換えると不着用が発見された場合の処罰対象は場合によって異なるが、着用義務そのものは全員にあるのだ。

自動車社会化が顕著なカナダの場合(公共交通網が日本に比べて未発達である事もあって)、自動車の利用頻度は日本に比べてより頻繁であり、かつ多くの場合、道路状況の違いから走行速度は高速である。当然の事であるが事故発生の場合、被害は重大なものとなる。

記事にも述べられているがシートベルトの着用は、事故発生時の被害抑制に顕著な効果がある。これは被害者自身の苦痛や損失を軽減するのみに止まら

ず、被害に関わる社会的, 経済的な損失を抑制する効果も意味しており、換言すると正しい使用は、自己の損失や苦痛除去のためのみならず、社会に共同生活する者として負うべき義務であると言える。